12月に多くなる交通事故

―忙しくとも道路では安全第一に

一年の総仕上げというわ一げで、人の心も特に浮ち

車も人もよく信号を守って

しさを加える関係か十二月は毎年交通事故が一番多く起きる月になっています。

今までに起きた十二月の事故から、その原因を調べてみますと、

- 注意力の不足
- 無理な運転
- 交通ルールの違反

などが主なるものです。もっとも、これは他の月についてもいえることなのですが、十二月は殊に師走の関係から、車を運転する人も、歩く人も、それぞれ忙しさにまかせて交通のルールを無視し、また、冬将軍の到来によって寒さがみぞれが降り、道路がすべりやすくなるなど状況が変わっているのに、それにかまわず無理なな運行をしようとするところに交通事故の起きる原因があります。

事故を防ぐためには!!

それでは一体事故を防ぐためにはどうすればよいのでしょう。

△車を運転する場合

△物かげから人は出ないか、横断者はいないか。

△前をゆく自転車によろめいたり、進むべき方向を変えたりしないか。

△道路はすべりやすくなっていないか。？

△追い越しのときは、反対の方から他の車がこないか。？

△路肩はゆるんでいないか。？

△飲酒運転、無免許運転、スピード違反はもってのほか。

△自転車に乗る場合

△いつも道路の左はしを通っているだろうか。？

△曲がるときに手の合図をしたろうか。？

△ブレーキやライトは完全かな。？

△道を横切るときは直角に、斜めに走るのはアブナイ、アブナイ。

△狭い道から広い通りへ出るときは、いったん停止しているか。？

△歩道と車道が分けられているところでは、いつもみんなで歩道を歩く、（車道は車の通るまで。）

△歩道のない道では右側を歩く（ただし、リヤカーを引いているときは左側です。）

△道を横断するときは直角に（右見て）（左見て）（右を見て）ワン　ツー　スリー　ゴー　で手をあげて渡りましょう

△酔って道路をフラフラしない。（他人の迷惑もさることながら、自分自身がとっても危ない。）

△横断の歩道は近くでそこを通るのが一番安全。車は横断歩道ではなく、しかも、それが年日毎日くりかえされているのです。

昨年年中に交通事故によって亡くなられた方は、全国で一一、四一五人、県内で一九〇人もちろん、駐車の禁止されているところに止めてはいけません。）

△駐車するには分用のスペースがあるときは、（他人のじゃまにならないよう。）

△歩道や雁木通りはいつもキレイに整理して（道は一人のものでなく、みんなのためにあるのです。）

△自転車はキチンと一列横隊。（乱雑になれば、それだけ道が狭くなるわけ。）

△小さな子供と連れだって歩く時は、いつもしっかり手をにぎってやれ。（きを見ては子供は駆けだす。）

△道路を広く有効に使うためには、（乗り降りは、人がおれば必らずとまります。）

△小さな子供と連れだつときは、いつもしっかり手をにぎってやれ。（きを見ては子供は駆けだす。）

△道路を広く有効に使うためには、（乗り降りは、人がおれば必らずとまります。）

△歩道や雁木通りはいつもキレイに整理して（道は一人のものでなく、みんなのためにあるのです。）

△自転車はキチンと一列横隊。（乱雑になれば、それだけ道が狭くなるわけ。）

△駐車するには分用のスペースがあるときは、（他人のじゃまにならないよう。）

△酔って道路をフラフラしない。（他人の迷惑もさることながら、自分自身がとっても危ない。）

△横断の歩道は近くでそこを通るのが一番安全。車は横断歩道ではなく、しかも、それが年日毎日くりかえされているのです。

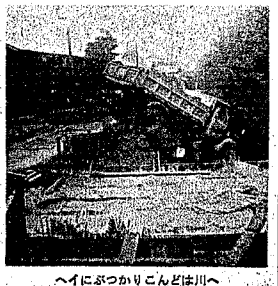
昨年年中に交通事故によって亡くなられた方は、全国で一一、四一五人、県内で一九〇人もちろん、駐車の禁止されているところに止めてはいけません。）

△駐車するには分用のスペースがあるときは、（他人のじゃまにならないよう。）

△酔って道路をフラフラしない。（他人の迷惑もさることながら、自分自身がとっても危ない。）

△横断の歩道は近くでそこを通るのが一番安全。車は横断歩道ではなく、しかも、それが年日毎日くりかえされているのです。

昨年年中に交通事故によって亡くなられた方は、全国で一一、四一五人、県内で一九〇人もちろん、駐車の禁止されているところに止めてはいけません。）

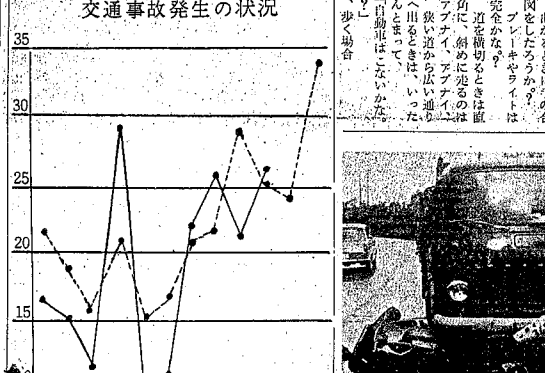


ヘイにぶつかりこんどは川へ

注意一秒ケガ一生!!

交通事故の悲惨なことは、今更いうまでもありません。一瞬の油断が取り返しのつかないことになり、しかも、それが年日毎日くりかえされているのです。

他人ごとではありません



国民健保 事業設立20周年記念 事業功労者・完納家庭等表彰

国民健保保険事業が設けられて今年で二十周年を迎えましたので市では去る十一月十日第一小学校でその功労者表彰を行ないました。

他関係者多数の出席のもとに式典を挙行しました。

国民健保保険は昭和十八年に新津町国民健康保険組合として発足し、終戦後市に引き継がれたものです。

保険証を使って医師の診療を受けられた総数は七万五千四百十八件、年間一人平均三回の受診となっております。これに要した保険給付費総額は四千三百六十五万四千一世帯当たり七千八百九十一円となっております。

一方保険料では総額三千九十三万円で一世帯平均で五千五百九十三円に比べて一世帯二千二百九十八円も多く還元されております。

保険施設では、市民の皆さんが心ゆく健康であるように医療担当者、助産等関係機関と協力し、婦人の定例検診、各種検病の予防に努力をしております。

伸びゆく新津市の国保

37年度受診七万五千件

昭和三十七年度の保険給付費は、千九十三万円で一世帯平均で五千五百九十三円となっております。

一方保険料では総額三千九百六十五万四千一世帯平均で五千五百九十三円に比べて一世帯二千二百九十八円も多く還元されております。

保険施設では、市民の皆さんが心ゆく健康であるように医療担当者、助産等関係機関と協力し、婦人の定例検診、各種検病の予防に努力をしております。

結石川弥太郎　一之町布沢博七、田村弥太郎、大蔵岩田繁雄、滝谷川田茂男、大鬼石月清一郎、新町山田茂男、下新吉田藤太郎、七日町荒木源三郎、浦神田春一、大鬼伊藤寅一、新郷屋遠山常衛、中野井越治三郎、四之町楯平豊三郎、新町山田正夫、停車場通吉川重虎、上山谷伊藤勝四郎、朝日吉田寅一、三之町福田忠次郎、出戸五十嵐茂太、新町森川勝、四之町奥田正山口、東蒲須賀川静子、古津常井ミヨシ、新町永井恭之、田家上組村井ヨイ、田家上組野沢ハナ、西金沢藤井和雄、滝頭寺片桐孝造、秋葉吉田ケン、飯郷斎藤房雄、北上斎藤米松、浦興野久田ミキ、大蔵、浦興野久田ミキ、

ご歳暮　ご年始には　たばこをどうぞ

たばこは新津地内で買いましょう。地内で買うと市の収入が増えます。

年賀状、年末増答は早や目に

去年より一日早く出す心がけて

年賀状、年末増答品について、次の事項をお願いします。

◎年賀状はおそくとも12月22日頃までにお出し下さい。おしせまって出されると元旦に間に合わません。去年より一日早く出す心がけで願います。

◎分の郵便車は運送や手紙類の輸送にふりむけられ平常より送達日数が長くなり、おそくなって出されると年内に配達されなくなります。

◎年賀状は日頃郵便の少ない子供さん達にもたくさんやって来ます。あて名はわかりやすく正しく書きましょう。

子供さんには○○方と肩書きを忘れないよう願います。

（新津郵便局）

きせつのわだい

歳末用心六か条

十二月には外出する機会が多くなります。また忘年会などで戒は行なわれるが、次の防犯心得六か条に各人が留意して下さい。

一、押し売りーうっかり両書は禁物、居直り強盗になりかねないから、一人でるす番していても大勢いるようにふるまう。危険を感じたときは、小額のものを買って帰らせてから、警察に緊急通報する。

二、しのびよみ―外出の際は、金銭や貴重品はカギのかかるところに分散しておく。家を長時間あける時には、近所の交番にパトロールのときに念を入れてもらうよう依頼する。

三、ゆすり強引な寄附とか、無理に正月飾りをして金銭を強要するようなものがあったら警察に届出ること。

四、かっぱらい―酔って道ばたに寝ていると、介抱するとみせかけてカバンやさふを盗むものがいる。酔うせのある人は、大事なものを持ち歩かないこと、知人に自宅まで送ってもらうこと。

五、スリ―デパートや駅、金融機関の近くには、集団や暴力のスリが必ずいるものと仮定して、ボンヤリ歩かないこと。

六、詐偽―つまり錢詐偽やに世話焼き、にせ集金人が横行するから必ず念を入れること。